GENIUS LOCI: OOMORI
大森の地霊
vol.22

大森には、人のいとなみが土地の記憶（地霊）として残っています。今回は、工業発展の歴史を振り返りながら、町工場が生まれた秘密に迫ります。
（文=クラカタヒロシ+たかだあや）

▲1960（昭和35）年、大森東3丁目。海苔漁家の背後に東京ガス大森工場が広がる。（『大田区工業ガイド』）

「まち＋工場＝町工場（まちこうば）」

工業都市への成長

大森、とりわけ大田区と聞いて、「町工場のまち」をイメージする人は少なくないだろう。大田区における産業用の機械設備を製造する一般機械器具製造業の生産高は、東京都全体の約3割、全国でも約1％を占めている。しかし、大田区における工業の歴史は意外にも浅い。

明治末期までの大森周辺は、江戸時代からの歴史をもつ海苔、東海道土産として重宝された「麦わら細工」の原料・麦わらが二大特産品の漁村・農村地帯だった。

しかし、一九〇八（明治41）年には東京瓦斯株式会社の大森製造所が大森町字東浜（現・大森東3丁目）に誕生。大正時代に入ると、旧東京市の郊外としての都市化の波が押し寄せてくる。一九一六（大正5）年2月、新井宿（現在の大森北地区）を皮切りに、耕地整理組合が設立し、将来の宅地化と工場用地化を目指した土地の区画整理が始められた。一九一九（大正8）年制定の旧都市計画法を受け、一九二五（大正14）年には大森の全部と入新井の一部が工業地域に指定された。これによって、一気に近代工業化が進み、京浜工業地帯の輪郭が形成されていく。戦争の影が色濃くなる昭和前期には、都内全体の軍需事業所の約4分の1が現在の大田区に集まる一大兵器工業地帯となった。それがゆえに、19回もの空襲を受け、工場のほとんどが破壊しつくされた。

戦後、それまで戦車など作っていた兵器工場は、洗面器やリヤカーなどの日用品を作り始めた。一九五〇（昭和25）年6月、朝鮮戦争の勃発による「特需」によって、工場のまちとして再び息を吹き返す。アメリカ軍をはじめ韓国側を支援した国連軍の軍用資材の発注が行われ、技術面や品質管理の面で厳しい修練を受けたことが今日、世界に通用しうる技術力が養われるきっかけのひとつになったといわれる。

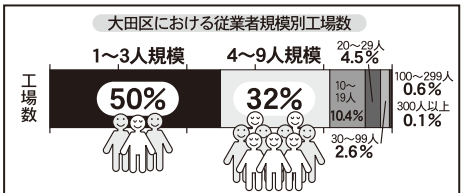
「仲間まわし」で支え合う町工場地帯の形成

昭和30年代以降の高度経済成長期は、大森の産業に大きな転換をもたらした。東京湾の埋め立てと航路整備のため、一九六二（昭和37）年漁業権を放棄し、三〇〇年の伝統を誇った海苔養殖が終焉を迎えた。

仕事を失った海苔生産者たちは、所有する海苔乾し場を増加する町工場の敷地に提供したり、漁業権を引き替えに得た補償金を資本に自ら町工場の経営に乗り出したり、年々増加する工場労働者のためにアパートを建設するなど、それぞれ新しい生業を、時代の大きなうねりの中に見つけていった。

一方、労働力不足が深刻化していた工場では、中卒者を対象とした集団就職が行われ、全国各地から「金の卵」と称された若い労働力が大森にも急増した。中小工場に就職した若い労働者は、徒弟制度が色濃く残るような職場で技術を身につけていった。ひとつの工場で長く働く者もいれば、新しい技術を身につけるため、よりよい労働条件で働くために、いくつもの工場を渡り歩いた末、独立の夢を果たしていった。海苔養殖の終焉は、このような独立創業を志す人達を後押しするような格好となった。現在、大手メーカーの試作品の板金加工を得意とし、大森南にある工場の3階で年に10回ライブを催していることでも有名な金森製作所も、一九七三（S48）年、海苔の乾し小屋跡を借りて創業した。3年後に移転するまでの間もずっと、木の壁から潮の匂いが抜けなかったという。

一九六〇年代から深刻化した公害問題に伴う工場分散政策によって、大規模工場は次々に移転し、機械金属加工を中心とする中小規模の工場でまちが形成されていった。二〇〇五年の調査でも、大田区内で操業している約五〇〇〇の工場の約半数が、従業員3人以下の家族経営的形態の企業で、9人以下の企業を含めると全体の約8割にも及んでいる。



『大田区工業ガイド』2頁「平成17年工業統計調査」結果をもとに作成

こうした町工場のひとつの特徴は「仲間まわし」と呼ばれる町工場間の連係プレーだ。自分の工場で組み立てしかできなくても、隣近所の町工場で部品や板金の加工、メッキや塗装などその種の専門技術を要する町工場に工程が回されて、順番に仕上げられ、製品を納品していくしくみのことをいう。自転車で行き来ができるくらいの近い距離に、専門化した町工場が寄り添い、お互いの得意分野を知りつくしたコミュニティがあるからこそ、大工場に負けないスピーディーかつ精巧な製品づくりを可能にしている。「ビルの屋上から設計図を紙飛行機で飛ばせば3日後には製品になって戻ってくる」と称されるゆえんだ。

現在、長引く経済不況によってさらに厳しい状況に置かれているものの、培われた高い技術力や連係プレーなど町工場の潜在能力は、これからも「ものづくり・日本」のけん引役であり続けるに違いない。■

【参考文献】
『工場まちの探検ガイド』
『大田区工業ガイド』
大田区立郷土資料館、1994
大田区産業経済部産業振興課・財団法人大田区産業振興協会、2008
小関智弘『ものづくりに生きる』岩波ジュニア文庫、1999
関晴夫『大森蒲田の元気工場』かんき出版、2002
web「輝け！大田のまち工場」http://www.pio.or.jp/k-map/

2面のご案内

ひとのいとなみ

現地で感じとることのできる地霊（ゲニウス＝ロキ）。大森というまちをかたちづくってきた、ひとのいとなみに迫ります。あわせて、読者の目線からの「口コミの紙面化」もめざします。

バックナンバーはウェブで！

21号○2009年10月
万灯行列の夜 本門寺のお会式
［変わりゆくお会式への道のり］
20号○2009年7月
わたしたちの内川
［内川の変遷と周囲の人々の暮らし］
19号●2009年4月
産業発展を支えた橋
［松原橋の歴史］
18号●2009年1月
大森シネマパラダイス
［大森の映画館の歴史］

www.oomori-cafe.com

「大森ドキ☆ドキ」九星3ヶ月占い

＊2010年　1月～3月＊

高田紫央先生
●大田区在住。風水・家相・引越し・方位・恋愛・仕事・悩み相談受付中
★ http://shiou168.blog105.fc2.com/

一白水星（いっぱくすいせい）	二黒土星（じこくどせい）	三碧木星（さんぺきもくせい）
1月 強運なれど油断禁物。遅刻に注意	1月 人気運が好調に素直さが幸運を呼ぶ	1月 正月気分が抜けず体重管理をこまめに
2月 幸運期。うれしい誘いが次々と訪れる	2月 目先にとらわれず遠くに目標設定を	2月 外は寒いが気合十分。血圧に注意を
3月 今年度のまとめと見直しがツキを呼ぶ	3月 多忙な月だが思いがけない収穫あり	3月 ステキな出会いあり念入りに準備を
四緑木星（しろくもくせい）	**五黄土星（ごおうどせい）**	**六白金星（ろっぱくきんせい）**
1月 ウインタースポーツでストレス発散	1月 新年会などパーティでステキなハプニング	1月 ステップアップが出来るチャンス！
2月 旬の食材を食べると運気がアップ！	2月 自分の殻を破るチャンスの時。慎重に注意	2月 発表会や展示会で評価を得られそう
3月 今までと違うやり方を試して開運	3月 華やかな春メイクがツキを呼ぶ	3月 1つのことに集中すると成果出る
七赤金星（しちせききんせい）	**八白土星（はっぱくどせい）**	**九紫火星（きゅうしかせい）**
1月 迷いが吹っ切れ、スッキリした新年に	1月 近場の温泉で運気も体調も改善	1月 種まきの時。春に向け計画を立てて
2月 好きな本や映画にどっぷり浸って吉	2月 慣れは禁物。一つ一つを着実に進めて	2月 好調。スタートダッシュで運をゲット
3月 手編み手料理など手仕事で運気アップ	3月 開運期。春を感じて思い切ってGO	3月 努力実り花が咲くあめでとう

九星の出し方
❶昭和または平成で生まれた年の数字を足して、ひとケタにする。
❷ 12もしくは3から、❶で出した数字をひく。
例）昭和51年生まれ　5＋1＝6　12－6＝6　六白金星
1/1～2/3までに生まれた人は、ひとつ前の九星になります。

まちあるき小ネタ ㉒ みてるでござる

投稿：中央O.U.さん
●ゴクウ参上！エイッ！
☆カラダ硬そうね
（つづく）
小ネタの場所はウェブ［www.oomori-cafe.com］でこっそり公開。
まちあるきが楽しくなるおもしろ投稿募集中！

大森・暮らしの歳時記⑥ ―― ボウタ

「大森・海苔のふるさと館」展示品より

海苔の最盛期は冬。冷たい海上で長時間、ときには夜間に作業を行う、厳しい寒さとの戦い。「ボウタ」と呼ばれたお手製の暖かい防寒着が必需品でした。保温のため、また丈夫で長持ちするよう木綿のはんてんに糸で刺子を施して使用しました。海中に手を入れても濡れないよう、右の袖のみが短いのも特徴です。

寛文九年創業
海苔の松屋
大田区大森東1-6-3
☎03-3762-0656
営10:00～19:30
休不定期

Life Map 知る ▶ Life Compass 分析 ▶ Theta Healing 自己実現
コミュニケーションが楽しくなる。
多くの人は、家庭や職場で、さまざまな人間関係に悩み、その悩みの大半は、コミュニケーション・ギャップです。
ライフスタイル研究所では、この問題を、解決していくための方法を提供しています。オリジナルのライフマップ・ライフコンパス・シータヒーリング等の具体的な方法を活用し、自分を知り、周りの人々を知り、自己実現していく「あなた」のお手伝いをさせていただきます。
ご自身が楽になり、人間関係が楽しくなる「笑顔のコミュニケーション」を創造します。
講座開講/毎月第三水曜日
60分・参加費：3,000円
●昼の回:11時～　夜の回:19時～
●各回先着8名限定

Life Human Communications　所長：平林　寛
ライフスタイル研究所
〒143-0023 東京都大田区山王 1-28-3　http://aquarina.net/lifehi
携帯.070-6401-1655 E-mail.hirarin831@dj.pdx.ne.jp

さっと1杯 おてがる本格派
旅行に！
ギフトに！
大和屋特製コーヒー
ドリップパック
5個入 ¥450～
珈琲豆と器の店 大和屋
定休日が変わりました
〒大田区大森西4-12-9 東邦医大通り「大森西4丁目」バス停そば
TEL&FAX 03-3298-8988 営10:00～19:00 休日月祝